

## 既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発 ～流木災害防止緊急治山対策プロジェクト～

中部森林管理局	東濃森林管理署	治山技術官	すがの 菅野 暢晃
	中信森林管理署	治山技術官	むねひろ よしのり 宗廣 克徳
計画保全部	治山課長	なかざわ としお 中澤 敏雄	

### 1. 課題を取り上げた背景

平成 29 年 7 月九州北部豪雨による甚大な流木災害等の発生を受けて、林野庁では、治山対策検討チームによる事前防災・減災に効果的な治山対策の「中間取りまとめ」を公表のうえ、流木災害防止緊急治山対策プロジェクトとして、山地災害危険地区等の緊急点検を行い、概ね 3 年間で緊急的・集中的に流木対策を推進していくこととしています。また、中部森林管理局管内においても、国有林が所在する全市町村長から流木対策の要望行動があり、流木捕捉式治山ダム等の積極的な整備が求められています。

### 2. 取組の経過

流木災害防止緊急治山対策プロジェクトとして取り組む流木捕捉式治山ダムの新設や既設治山ダムの流木捕捉式への改良は、現行計画との整合性や経費的、技術的な課題も多いことから、流木の効果的な捕捉を目的とした「流木捕捉工」を新たに考案しました。特に経済性と施工性を考慮して、使用実績がある資材を組み合わせた構造部材を協力企業に製造して頂き、中信森林管理署及び東濃森林管理署管内において試験施工を実施しました。

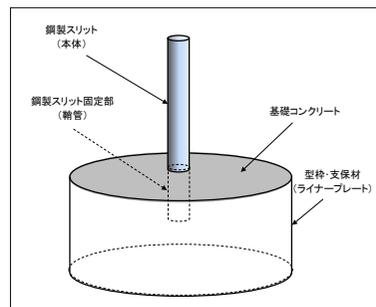


図 1：流木捕捉工（構造イメージ）

### 3. 実行結果



写真 1：型枠（ライナープレート）の組立



写真 2：型枠（ライナープレート）の据付



写真 3：コンクリートの打設



写真 4：鋼製スリットの設置



写真 5：完成（設置後 6 ヶ月経過）

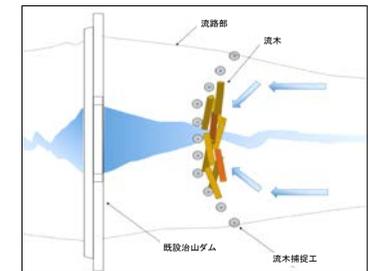


図 2：流木の捕捉イメージ

### 4. 考察

流木捕捉式治山ダムの設置を推進するにあたり、既設治山ダムを活用した「流木捕捉工」の設置は、設置費及び施工時間を縮減可能な有効な手段ですが、今後、出水期における流木捕捉効果を確認し、更なる改良に取り組んで参りたいと考えています。